

## 海のもしものは118番



## 名護海上保安署通信

第7号 平成26年1月23日発行

〒905-0011

名護市字宮里 452-3

☎ 0980-53-0118

## 年末年始特別警戒実施

名護海上保安署では、毎年12月10日から翌1月10日まで、年末年始特別警戒を実施しました。この特別警戒は、離島への帰省客や観光客など多くの人が集まる旅客ターミナルや旅客船などにおいて、不審物や不審者への警戒、旅客船の乗組員や港湾関係者などが、不審事象発生した際の海上保安庁への118番通報の徹底を呼び掛けるものです。また、冬場の海上荒天に備え、小型漁船やプレジャーボートなどに対しての安全指導を実施して海難発生を未然に防止するとともに、船に乗るだけでなく、岩場や防波堤での釣り人に対しても救命胴衣の着用を呼び掛けています。



## 1月18日「118番の日」

毎年1月18日は「118番の日」です。118番の日は、平成12年5月から全国の海上保安機関で運用が始まりました。警察の110番や消防の119番と同じように、海に関係する事故や事件の緊急連絡は、118番をダイヤルしてください。

118番は、一般の固定電話や公衆電話からかけると、かけた電話の場所を管轄する管区海上保安本部の運用司令センターに繋がります。また、携帯電話からかけると、その電波を受けた携帯電話会社の中継局がある場所を管轄する管区海上保安本部の運用司令センターに繋がります。

そして、船舶電話や衛星携帯電話からかけると、東京にある海上保安庁（本庁）の運用司令センターに繋がります。本庁の運用司令センターは全国の船舶電話や衛星携帯電話から118番がかかってくるので、土地勘のない場合もあるかと思いますが、ですから、船舶電話や携帯衛星電話から118番をかける場合には、自分のいる場所をGPSなどから緯度経度を読み取って正確に伝えることが大事です。

## 図画コンクールを表彰

昨年12月18日に、この夏に各小學校生徒から募集した「未来に残そう青い海図画コンクール」の名護海上保安署長賞の表彰を行ないました。今回、署長賞を受賞したのは、本部町立上本部小學校6年生の川口真凜（かわぐちまりん）さんです。未来に残そう青い海図画コンクールは、海上保安庁が毎年夏に全国の小学生を対象に、海上環境保全に対する意識を高めてもらうため行っているもので、当日、お父さんと弟と一緒に名護海上保安署を訪れた真凜さんは、その名前のおおと海が好きで、今回の図画は、伊江島のタッチウーをバック

にジャンプするくじらを描いたものでした。賞状と副賞の図書券を貰った真凜さんは、これからもきれいな沖縄の海を大切にしていきたいと抱負を語ってくれました。



## 新たなごづきが就役

現在の巡視艇なごづきが、1月29日で解役となります。なごづきは、昭和56年に名護海上保安署の前身で当時本部町にあった渡久地海上保安署に配属され、これまで33年間沖縄本島北西部の海域で、海難救助や海上犯罪の取り締まりなどに活躍してきました。新たなごづきは、1月30日に就役し、3月1日午後1時から名護漁港において解就役式を執り行います

当日は、式の後に一般公開も行ないますのでぜひご参加ください



編集後記：新年が明けてもう一ヶ月近くが過ぎました。本年もよろしくお願いたします。

今回はネタ不足で縮小版としました。今後も不定期ではありますが名護海上保安署の近況・お知らせなどを発信していきます。本年もよろしくお願いたします。

## 海のもしものは118番

(文責：名護海上保安署次長)